経営比較分析表（令和6年度決算）

岐阜県飛騨市　国民健康保険飛騨市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	15	－	ド 透	救 へ 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
21,674	6,237	第１種該当	－	１０：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
54	27	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	81
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
48	20	68

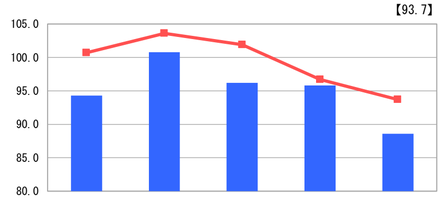
※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

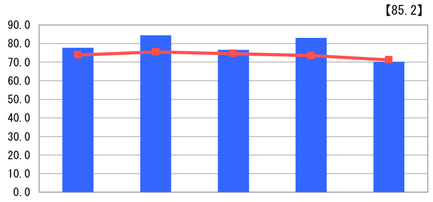
【93.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	94.3	100.8	96.2	95.8	88.6
平均値	100.7	103.6	101.9	96.7	93.7

②医業収支比率(%)

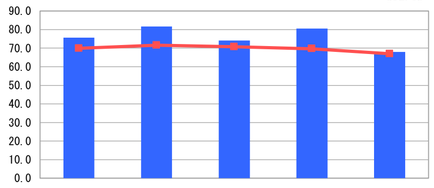
【85.2】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	77.7	84.4	76.6	83.1	70.2
平均値	73.8	75.5	74.6	73.6	71.2

③修正医業収支比率(%)

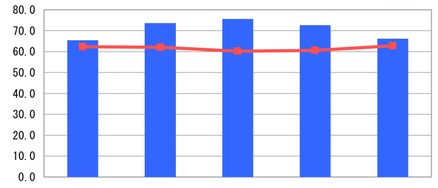
【82.6】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	75.6	81.7	74.1	80.5	67.9
平均値	69.9	71.6	70.8	69.7	67.0

④病床利用率(%)

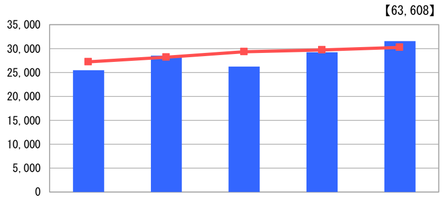
【70.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	65.4	73.6	75.7	72.7	66.2
平均値	62.3	62.1	60.2	60.6	62.8

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

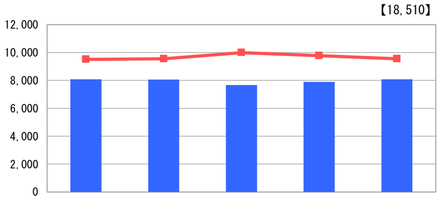
【63,608】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	25,491	28,536	26,229	29,197	31,583
平均値	27,227	28,176	29,348	29,723	30,242

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

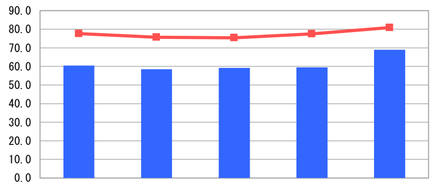
【18,510】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	8,074	8,065	7,664	7,904	8,076
平均値	9,509	9,548	9,992	9,779	9,547

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

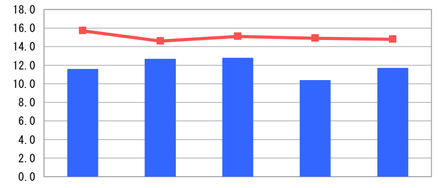
【57.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	60.5	58.5	59.2	59.5	69.0
平均値	77.7	75.7	75.4	77.5	80.9

⑧材料費対医業収益比率(%)

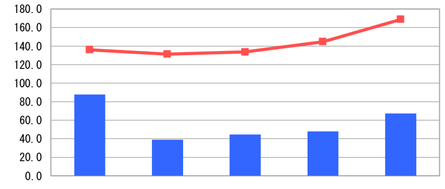
【26.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	11.6	12.7	12.8	10.4	11.7
平均値	15.7	14.6	15.1	14.9	14.8

⑨累積欠損金比率(%)

【54.3】

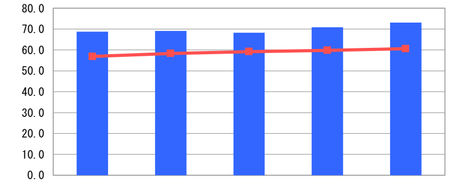


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	87.8	38.8	44.5	47.9	67.3
平均値	136.0	131.3	133.6	144.6	168.7

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

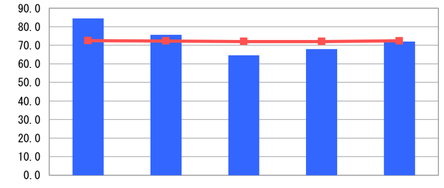
【58.0】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	68.8	69.1	68.2	70.9	73.1
平均値	56.9	58.3	59.2	59.8	60.6

②器械備品減価償却率(%)

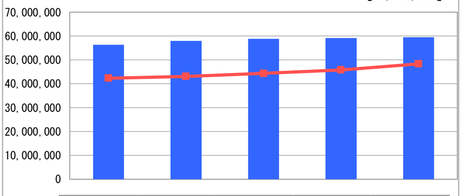
【70.8】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	84.4	75.7	64.6	68.0	72.0
平均値	72.5	72.3	72.0	72.0	72.4

③１床当たり有形固定資産(円)

【53,183,039】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	56,360,728	57,998,037	58,794,321	59,128,321	59,479,235
平均値	42,330,999	43,068,047	44,341,948	45,796,115	48,319,566

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

山間へき地並びに、高齢化率45%の当地域において、近隣の二次、三次いずれの救急指定病院まで50分以上要するため地域唯一の救急指定病院として、住民の医療、健康面での安心・安全に暮らせる拠点として機能している。また、当院は岐阜県の最北端に位置するため近隣の富山大学からの医師派遣協力の元、外来では15の診療科を標榜し、診療科の連携を取りながら診療にあたっている。
　入院では、急性期から慢性期、ターミナル期まで幅広い分野での医療に加え、地域包括ケア病床を活用し、効率的な医療・看護・リハビリを行い在宅復帰支援に注力している。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益について、令和7年1月より地域包括ケア病床を20床から40床に増床したことが功を奏し1人1日平均の診療費が増加した。しかし、入院患者数が前年度比で1,987人減少したことにより11,320千円の減収となった。また、外来患者数も前年度比で2,079人減少したことで6,769千円の減少となった。事業全体でも前年度比で95,102千円の減少で1,479,593千円となった。大規模な修繕や高額な備品の購入などはなかったものの、電気料金などの物価の高騰や給与費の上昇により支出が大幅に増加した。事業費用全体では前年度比で64,596千円増の1,672,047千円となり事業収支は192,454千円の損失を計上した。経営状況が厳しいことには変わりがない。

2. 老朽化の状況について

当院本館部分は平成元年建設で、建物や建物付帯設備、機械等の老朽化が著しい。施設・設備の更新については、急激に進展している地域の人口減少から、今後の医療需要の低下が見込まれることも踏まえ、長期的な視点から、適正な規模、診療体制を検討し、建築に際しての建設費用、維持管理費の抑制に資する手法を併せて検討し、投資と財源の均衡を図る。（超音波画像診断装置、軽自動車2台を更新した）

全体総括

飛騨市民病院あり方検討委員会を設置し、地域住民のニーズに応えられるよう、持続可能な医療提供体制の将来像を多角的に検討した。今後の人口減少と高齢化に伴う医療需要の変化を踏まえ、病院の規模縮小や医療機能の変更、施設の再整備など、新たな対応が求められる。これらの課題を克服するためには、経営の健全化が不可欠であり、安定した収支バランスを維持するため、経営力の強化と効率化に取り組み、市民に信頼される安全・安心な医療サービスを提供できるよう努力したい。